

ESXiおよびHXDPの互換性ガイドライン

初版：2017年4月28日

最終更新：2023年2月14日

はじめに

HyperFlex データ プラットフォーム は、ESXi ハイパーバイザおよび UCS ハードウェア コンポーネントと連携して動作し、シームレスなカスタマーエクスペリエンスを提供します。すぐに使用できる優れたエクスペリエンスから、容易な継続的なメンテナンスまで、HyperFlex はライフサイクル全体で最適に動作するように設計されています。HyperFlexの導入で最適なエクスペリエンスを実現するには、次のガイドラインに従って、HXデータプラットフォームソフトウェアレイヤとESXiソフトウェアレイヤ間の適切な相互運用性を確保することを推奨します。



重要 VMware アップデート マネージャ (VUM) または、VMware ライフサイクル マネージャ (vLCM) を使用して HyperFlex ノード上で ESXi をアップグレードすることはサポートされていません。これらのアップグレードメソッドを使用することは、Cisco カスタムドライバの削除とクラスタ停止を引き起こす場合があります。VMware のセキュリティ パッチまたは、ESXCLI コマンドと一緒にオフライン zip バンドルの手動のインストールを含む ESXi アップグレードは、Cisco Intersight または、HyperFlex 接続 の使用を推奨します。

ESXi ハイパーバイザー

ESXi は、HyperFlex データプラットフォームのコア基盤要素として機能します。したがって、お客様は、すべての HX プラットフォーム機能で正常に動作することが確認されている、承認済みのビルドを実行していることを確認する必要があります。テスト済みの ESXi バージョンの最新リストについては、『Cisco HX Data Platform Release Notes』の「[Supported VMware vSphere Versions and Editions](#)」の項を参照してください。

VMware は通常、vSphere/ESXi 製品の通常のライフサイクルの一環として、メジャー、マイナー、バグ修正、およびセキュリティパッチをリリースします。完全な互換性を確保するために、リリースノートに記載されている特定のバージョンの ESXi を使用することをお勧めします。他の ESXi バージョンに変更する場合のルールは次のとおりです。

- メジャーリリース (例：5.5、6.0、6.5)：リリースノートに記載されているバージョン以外の変更は許可されません。

- 更新リリース（例：6.0U1、U2、U3）：リリースノートに記載されているバージョン以外の変更は許可されません。シスコは、ベストエフォートベースで90日以内にこれらのリリースの認定を試みます。
- バグ修正（パッチリリースおよびExpressパッチ）：現在の更新リリース内にある限りインストールできます。シスコは、テストされていないESXiビルドでの完全なHX動作を保証できません。お客様は、完全な運用能力を確保するために、最初にラボまたは実稼働前の環境でビルドを試すことをお勧めします。パッチの結果が望ましくない場合、お客様はパッチを元に戻すよう求められることがあります。シスコは、ベストエフォートベースで90日以内にこれらのリリースの認定を試みます。
- [セキュリティのみのパッチ（Security Only Patches）]：現在の更新リリース内にある限りインストールできます。互換性がないと判断された場合は、パッチの反転が必要になることがあります。

例

VMware Security Advisory VMSA-2017-0006：サポートされている更新リリースに対応するパッチを選択する限り、これを適用できます。



重要 いずれの場合も、長期的な安定性のために、リリースノートに記載されている特定のバージョンのいずれかを使用することを強く推奨します。

注目すべき例外

ESXi 6.5以降は、最小バージョンとしてHXデータプラットフォーム2.5（1a）と組み合わせる必要があります。以前のバージョンのHXDPは、インストールされているESXi 6.5では機能しません。ESXi 6.5にアップグレードする前に、HXDPを2.5（1a）以降にアップグレードしてください。

パッチの削除

モジュラ ESXi アーキテクチャは、パッチのインストールからの安全で簡単な反転を可能にするデュアルブートバンクを提供します。ESXCLI コマンドでオフライン zip バンドルを使用して、パッチを手動でインストールする必要があります。または、VUM は、ホストが管理者によって HX メンテナンスモードに入った後の単一ホスト修復にのみ使用できます。



(注) クラスタ レベルの VUM 修復は許可されません。

パッチの削除が必要な場合は、VMware KB：[1033604](#) を参照してください。完全な安定性が確認されるまで、複数のパッチを順番に適用しないでください。これにより、代替ブートバンクを使用して既知の動作状態に戻すことができます。HyperFlex

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。